

東京農工大学・岩手大学大学院 共同獣医学専攻構想（案）

＜獣医学の切り口から社会を先導する産官学使命志向型博士の養成＞

〈現 行〉

大学院
(4年制)

連合獣医学研究科

基幹校: 岐阜大学

学部
(6年制)

共同獣医学科

鳥取大学 + 岐阜大学

共同獣医学科

東京農工大学 + 岩手大学

共同獣医学課程

帯広畜産大学 + 北海道大学

岐阜大学連合獣医学研究科（平成2年度～）〈入学定員20名〉

○岐阜大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学

入学年度	連獣全体	農工大配置	岩手大配置
2012春	19名	5名	3名
秋	6	1	2
2013春	21	8	2
秋	5	4	
2014春	20	6	6
秋	8	5	
2015春	30	12	4
秋	7	4	1
在学生 2015.10.1	116	45	18

【現状の課題】

- 獣医学科と大学院の枠組みのずれ
- 学部教育と大学院教育の接続による指導者養成が急務
- 外部機関との連携による実践力養成が必要

「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」
(文部科学省・平成26年6月)

【課題の解決】

- 共同学科に接続した共同大学院の設置による更なる相乗効果が期待
- 学部教育と大学院教育を通じた10年一貫による段階的・体系的教育の実施
- 首都圏及び東北地域を中心とした研究機関等との連携による実践的大学院教育の充実

農工+岩手

共同獣医学専攻

+

共同獣医学科

※本計画は、設置構想中のものであり、変更があり得ます。

設置の必要性

東京農工大学と岩手大学で掲げた共同獣医学科の教育理念「人類と動物の健康と福祉に貢献する」を更に深化し、東日本における高度教育研究拠点として成長していくためには、現状の枠組みのずれを解消し、学部教育と大学院教育を通じた10年一貫教育を目指すとともに、新たな共同カリキュラムを組み込んだ獣医学分野における研究者及び高度専門職業人養成のための大学院教育組織の構築が必要

共同獣医学専攻（博士課程）の教育理念

- 動物衛生・公衆衛生分野及び高度動物臨床医科学分野を先導する高度な研究能力を持つ人材育成

教育課程の特色

- 教育理念に基づき、指導体制を二つの大講座（獣医衛生科学講座及び獣医臨床医科学講座）に集約し、使命志向型研究を実践する組織体制を踏まえたカリキュラム

学内研究施設
の活用

農工大
家畜感染症防疫
+
伴侶動物臨床

+
+

岩手大
食品安全教育研究
+
産業動物臨床

⇒
⇒

獣医衛生の強化

高度獣医療の強化

教育課程等及び講座体制

教育課程等

- 入学定員: 10名程度（4年制博士）
- 授与する学位: 博士（獣医学）
- 開設時期: 平成30年度
- 開講科目
 - 共通基盤科目
 - 個別開講科目（講義）
 - 個別開講科目（演習）
 - 他

講座体制

講座	目指す人材
獣医衛生科学	世界的視野で動物の健康や食の安全を確保し、人の健康の維持にも貢献し得る人材
獣医臨床医科学	新たな診断・治療技術の開発を通じて最先端の獣医療を実践し得る専門知識や専門技術を備えた人材

農工大・岩手大の強み

近郊に設置されている主な機関

➤ 国内研究機関に近いロケーション

- ✓ 連携研究機関との更なる共同研究の推進が期待
- ✓ 円滑なフィールド実習、インターンシップへの派遣

- ・国立感染症研究所
- ・国立食品医薬品衛生研究所
- ・国立がん研究センター
- ・動物医薬品検査所
- ・日本中央競馬会（JRA）
- ・動物衛生研究所
- ・農業生物資源研究所
- ・畜産草地研究所
- ・理化学研究所
- ・実験動物中央研究所
- ・生物化学安全研究所
- ・家畜改良センター
- ・都道府県研究所
（岩手県環境保健研究センター等）
- ・国内行政機関
農林水産省、厚生労働省
都道府県畜産課・衛生課

➤ 4つの学内センターの活用

<農工大>

- ✓ 国際家畜感染症防疫研究教育センター
- ✓ 動物医療センター

<岩手大>

- ✓ 動物医学食品安全教育研究センター
- ✓ 動物病院

➤ 学内フィールドの活用

<農工大>

- ✓ フィールドサイエンスセンター
- ✓ 植物工場

<岩手大>

- ✓ 寒冷フィールド教育センター（御明神牧場）

➤ 国際的感覚と専門知識を有する次世代指導者及び行政官の育成

- ✓ 大学教員等の後継者育成

学部教育から研究マインドの醸成を図り博士課程への進学

→国内外の連携研究機関の博士研究員→テニュアトラック教員・新規教員等へつなぐ

- ✓ 現場において高度な科学技術に根ざした応用研究を推進する指導者の養成
- ✓ 臨床や企業・自治体などの研究所に勤務後にSTEP-UPを目指す
- ✓ 国際競争力を有する博士行政官の養成

先端的課題・情報の共有とそれらを題材とした研究開発・問題解決能力の養成

➤ 特に、東日本地域における高度専門技術者の育成

- ✓ 震災地域での動物医療・公衆衛生分野の復興支援事業の高度化にかかる指導者養成が急務





岩手大学・東京農工大学 農学部 共同獣医学科

国際水準の獣医学教育

東京農工大学 農学部

岩手大学 農学部

共同獣医学科



共同獣医学科

双方向遠隔講義

動物医療センター

動物病院

— 伴侶動物の高度医療

— 産業動物診療

獣医療情報の活用

遠隔診療シミュレータシステム

国際家畜感染症防疫
研究教育センター

動物医学食品安全
教育研究センター

— 国際家畜感染症防疫対策

— 食品の安全



海外機関、国内民間動物病院、獣医系大学、動物園・水族館など

